

JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

臨時号

創立30周年記念事業の動き— 3

展覧会「福岡展」オープンほか 順次、実施へ

記念事業委員会常任委員 森 谷 延 周

去る4月3日に、「趣意書」と「記念ポスター」を中心とした第2回プレス発表、続いて「世界デザイン博ギャラリー展」への参加募集、そして5月1日からは、展覧会・福岡展「'89デザインイヤー九州インテリアデザイン展」がオープンしました。さらにこの5月26日（金）には、東京・日本青年館において「式典」「記念講演会」「パーティー」が予定されています。

このように30周年記念事業は順次、「計画」だったものが一部に「実施」という形で進んでいます。

本号では、全会員に送付済みの「趣意書」に盛り込まれた、その具体的内容や、様々なイベントへの参加要請などが中心です。予定の事業の中には時間的なタイミングから、まだ検討中というところもあります。

記念事業の今後の動きは、通常の「JIDニュース」の発行時期を勘案しながら、お伝えしていきたいと考えています。



記念事業に絶大なご協力を！

記念事業委員会委員長 川 上 信 二

記念事業も5月1日より、九州事業支部の皆様の総力をあげて企画した「'89デザインイヤー九州インテリアデザイン展」が福岡シーサイドももちの会場で幕をあげ、本格的にスタートしました。

今回の記念事業は、特に30周年をひとつの節目としてJ I Dの新たな出発の原点にしようというのが、大きなねらいです。そのため昨年夏の箱根フォーラムでも語られたことですが、日常的な事業活動を記念事業として取り上げ、その成果をこれからのJ I Dのバックボーンとして生かして行こうというものです。

その主旨で、記念事業委員会、そしてそのまとめ役である常任委員会は、舵取り役を仰せつかっているわけですが、各事業の横の連携、それぞれの委員会間におけるクロスオーバーする行事内容の調整、そして何より、今回五つの大きな事業に分けていますが、それぞれに各委員の方々の熱意ある企画があふれています。車の運転に例えれば、各委員会の方々のアクセルがかなり強く、常任委員会ではむしろ、全体のバランスの中でどの様に程良くブレーキをかけて安全運転をするか、というところが課題です。

おくれませながら、具体的な内容、スケジュールを示した「趣意書」、そして「記念ポスター」もお手許へお届けさせていただきましたので、この事業の内容について更にご理解下され、ご協力のほど重ねてお願いいたします。

これからは5月26日の記念式典がすぐ行なわれますが、8月26日から「世界デザイン博ギャラリー展」を皮きりに、9月15日を中心に名古屋において、インテリアデザイナーズデー、研究発表会、マルエイ・ハローネでの中部事業支部の展覧会、国際委員会主催のアジアのデザイナーとの国内ツアー等、行事が集中して行なわれます。10月6日からは近鉄アベノ店での関西事業支部の展覧会、10月19日からは関東事業支部の展覧会が第1会場として銀座ポケットパークで、11月20日からは第2会場として湾岸ダイコーライティングラボで開かれます。

その他、ニューマップ、30年史および記念特集号なども各委員が鋭意出版準備作業に励んでおります。

これからは基金募集を含め、それぞれの事業について、各委員会から皆様のもとへ直接事業参加、ご協力への呼びかけが続くことと思いますが、この事業の成功のため重ねてよろしくお願いいたします。

テーマブースの巡回は中止、各支部独自の展開に

展覧会委員会委員長 中 川 斉 二

会員の皆様には益々御健勝のことと存じます。展覧会委員会で進めて参りました「アメニティをこえたインテリア」東京展のご案内が大変遅れて、会員の皆様にご心配をおかけ致しましたことを深くお詫び申し上げます。又、J I D 30周年記念事業展覧会のメイン展示となるべき「テーマブース」が当初の計画と大きく変わり、巡回しないことになりましたことも併せてお詫び致します。

テーマブースにつきましては各支部独自の企画で開催することになりました。物理的に作品移動が困難であることや、運搬、経費の問題、東京展会場が当初考えたよりスペースがないこと等が巡回とりやめの理由です。

東京展の第1会場は東京ガス、銀座ポケットパーク1階と2階を使用しテーマブースを中心に展開致します。因みに今回の各支部の「テーマブース」について概略紹介致しますと、三支部共通テーマとして「アメニティをこえたインテリア」を取上げ、それぞれにキーワードを設定し提案展示します。

大阪展のキーワードは「狭、少、過、密、美、感、遊、創」構成として100×100鋼管で区切られた空間(3,600×3,600×H 2,400)約、5～6ブースをベースに居住空間を展開致します。

名古屋展のキーワードは、「五感遊創」素材、イメージ、そして創造。石、石油(石炭)土、木、草、動物の素材展示、及び関連企業のパネル展示、テーマ展示、これらの素材を設けられた空間展示で展開致します。

東京展のキーワード「五感で感じる生活環境の創造」ポケットギャラリー1階の全スペース(140㎡)を展示空間とし、「異次元空間」「母親の胎内」を想定(テーマブース担当)、そして人間が感じる五感(見る、聴く、味わう、嗅ぐ、触れる)を空間構成展示で表現致します。

大勢の会員の参加を戴きながら、テーマについて意見

の交換と、参加者全員の意志統一をはかり、英知を結集して「アメニティをこえたインテリア空間」を表現できればと思っています。会場入口周辺が吹き抜けになっていますから、空間いっぱいにはタピストリーや、フアブリックでユニークな展示構成が出来ると考えています。

第2会場は浜松町湾岸、鈴江倉庫5階のダイコーライティングラボ(330㎡)で、インテリアエレメントを中心に、会員、協力企業のデザインで構成します。

共同事業委員会、IFT(国際家具見本市)との協力内容以下の通り決定

共同事業委員会委員長 三輪正弘

今日の人類の生活は、長期にわたる国際的な安定性に支えられた経済の発展によって、かつてない充実に向かっています。

ところが一方では、その繁栄とは裏腹に、われわれの棲み続ける地球の環境が日増しに悪化していく事実が目につぶることができなくなっています。今、生活のための産業は、デザインと生産の両面が一体となって、ひとつの確固たる意識をもたねばなりません。それは他ならぬサバイバルのコンセプトです。大げさにいえば、人類が生き残り地球が存在し続けるためのグランド・デザインが必要です。生活産業を支えてきたわれわれの立場もこの問題から目をそらすわけにはいきません。

今回のイベントのテーマも、この問題に対するひとつの提案となっています。人間の居住空間には限界が見えてきたにもかかわらず、人口が増え続け、それ以上に人間ひとりひとりの欲望が加速性をもって拡大していきます。明らかにこれは矛盾であり、いずれは破局を迎える方向でしかありません。

空間の限界を受け入れながら生活の自由自在を充足させることができないでしょうか。長い間、日本人の生活の中で繰り広げられてきた「舗設」「しつらい」、すなわち「振る舞い」にそくした「しつらい」という生活の智慧を、あらためて今日の視点で見直すことが、本当の意味を持ち始めたのではないのでしょうか。

フォールディング・ファニチュアを中心にした今回の家具展示は、限られた「空間」にフレキシブルな生活の「場」を展開するための道具として、画期的な見直しを

行い、次代の生活へのひとつの方向を見出そうとするものです。

このイベントを機に、世界中のフレキシブル・ファニチュアの動向をとらえ直し、新しい生活様式の掘り起こしを図ることができれば目的の半ばは達成されるでしょう。

■ 開催要項

開催趣旨：フォールディング・ファニチュアを、限られた「空間」にフレキシブルな生活の場を展開するための道具として画期的な見直しを行い、次代の生活へのひとつの方向性を見出すとともに、このイベントを機に世界の折りたたみ家具の動向をとらえ直し、新しい生活様式の掘り起こしを図ろうとするものです。

名称：「フォールディング・ファニチュア」展
(サブタイトル)

～折りたたみ家具大集合～

主催：(社)国際家具産業振興会
後援：通商産業省(予定)
協力：(社)日本インテリアデザイナー協会
協賛：(財)日本産業デザイン振興会
(財)国際デザイン交流協会
(財)生活用品振興センター
(財)工芸財団 (財)家具の博物館
(社)日本インダストリアルデザイナー協会
(社)日本クラフトデザイン協会 日本デザイン学会 (以上予定)

資料提供：武蔵野美術大学、公設試験研究機関等

会期：1989年11月22日(水)～26日(日) 5日間

会場：東京国際見本市会場(晴海)

'89東京国際家具見本市 第5会場イベントステージ 500㎡(予定)

来場対象者：家具・インテリア製造、卸・小売業者、貿易業者、インテリアデザイナー、インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、建設会社、設計事務所、工務店、設備施工会社、ホテル・レストラン業者、デベロッパー、不動産、公共施設関係者、教育関係者、DIY業者、通信販売業者、官庁、団体、銀行、一般消費

者、報道、その他

('89東京国際家具見本市来場予定者約10万人)

■ 出 展 要 項

出展依頼先：大学、全国公設試験研究機関、在日公館
国内一流企業、建築家、デザイナー等

対 象：世界各国の折りたたみ家具（発表、未発表を問いません）

選 定：運営委員会のほかに選定委員会を設置して、別紙「出展申込書」により選定します。選定された製品（作品）については、主催者より出展依頼書など関係書類を送付させていただきます。

選 定 数：150点（予定）

「リゾート施設のインテリア」 「シルバー社会のインテリア」 研 究 活 動 ス タ ー ト へ

研究委員会委員長 山 田 伊三郎

研究委員会より「リゾート施設のインテリア」・「シルバー社会のインテリア」研究活動についての近況をお知らせ致します。

去る3月8日(水)両テーマとも第1回の研究活動参加メンバーによる合同会議を開催、又両テーマとも4月19日(水)に第2回の合同会議を開催し今後の研究活動の進め方等の検討を行い、今後の活動の推進役でありますチームリーダーの選出がされ当日参加メンバーの全員の賛同を得まして決定いたしました。

● リゾート施設のインテリア

チームリーダー 白石勝彦氏（会員番号 89）

電 話 03-425-5288

F A X 03-426-5179

リーダー 志波 茂氏（会員番号 474）

電 話 03-705-1111

F A X 03-705-1129

● シルバー社会のインテリア

チームリーダー 古藤一郎氏（会員番号 35）

電 話 03-246-4328

F A X 03-273-3918

新しい試みでもあり、又時間的にも経済的にも活動メン

バーの方々に負う所が多いにもかかわらず、お受けいただいた両チームリーダー・リーダーをはじめ又積極的に参加確認を意志表示していただいた研究活動参加メンバーの方々に厚くお礼を申し上げます。

今後は両チームリーダー・リーダーを中心として研究活動が活発に推進されるものと信じます。

尚4月19日(水)当日の議事要旨を紙上を借りましてお知らせ致し、事情で第1回・第2回の会議に出席できなかった会員の皆さまにも再度参加をお願い申し上げます。参加方法は両チームリーダー・リーダーにご連絡をいただければと思います。

■ リゾート施設のインテリア

（4月19日(水)議事要旨）

1) メンバーの確認

- 第2回研究チーム出席者全員（8名）の参加を確認する。
- 第2回研究会に出席出来なかったメンバーにも再度参加意志の確認を研究委員会事務局より連絡する。（後送申し上げます。）

2) メンバーの組み方

- 関東（仙台・関東以北含む）グループ・関西及び中部グループを基本とする。なお関西・中部については今回出席されていないので研究委員会事務局で連絡を取り、チームリーダーと相談して決める。

3) 研究活動の進め方について

- J I Dとしての研究発表であるため社会的責任を考え社会に提案できる方向で進める。
- 研究活動には大きく3つの進め方が考えられるが、
 - ①調査研究を主としたリサーチ方式
 - ②施設を想定したシュミレーション方式
 - ③具体的プロジェクトに参加するプロジェクト方式次回ではテーマを絞り込むためにK J法で進めてみたいので、下記の内容について各自が持っている考え方及び情報をポスト・イット（76×76 mm程度）に準ずるものに横書きで記入し持ち寄って分類する。

＜リゾート施設の実例＞

- 1 立地別
- 2 行為別
- 3 規模別
- 4 利用者別

4) 今後の会議について

- 今後のチーム会議及び作業については隔週水曜日を基本として進める。

時間については午後1時30分より5時までとし、2カ月に1回程度は夜行う。

5) 参加メンバーの連絡方法について

- 連絡網方式を採用して行う。

次回第3回研究会開催日

- 日時：5月10日(水)午後1時30分～5時
- 場所：ホートク販売株式会社 ショールーム

東京都新宿区西新宿1-26-2

野村ビル31階

電話 03-348-7481 (代)

以上、白石チームリーダーを中心に進められました。

■シルバー社会のインテリア(4月19日(水)議事要旨)

1) メンバーの確認

- 第2回研究チーム出席者全員(12名)の参加を確認する。
- 第2回研究会に出席出来なかったメンバーにも再度参加意志の確認を研究委員会事務局より連絡する。
(後送申し上げます。)

2) メンバーの組み方

- チームリーダーを中心に研究会参加メンバーの意向で行う。

3) 研究活動の進め方

- 研究スタートに当りまず専門家のレクチャーを受け今後の研究会の進め方の参考にする。
(メンバー嶋さんより提案あり吉田あこ様が適任との意見あり、次回会議に講演をお願いする。)
- メンバーは積極的に参考資料を蒐集をし提供する。
- 研究期間は約1年ぐらい予定し、'90年3月末頃までにしたい。
- 研究発表について

9月16日に予定している名古屋での発表には何らかの発表をしたい。

4) 今後の会議について

- 今後のチーム会議及び作業については、月2回程度とし、隔週火曜日を基本として進める。

時間については午後6時30分～8時30分までとする

• 今後の研究会開催予定日

- 5月8日(月)午後6時～8時

場所：ホートク販売(株) ショールーム

ム吉田あこ様の講演(予定)

※この日だけは月曜日となっています。

- 5月23日(火) 場所：未定

- 6月6日(火) "

- 6月20日(火) "

- 7月4日(火) "

- 7月18日(火) " (発表までの予定を組む)

↓

- 9月16日(土)発表

5) 参加メンバーの連絡方法について

- 連絡網方式を採用して行う。

次回第3回研究会開催日

- 日時：5月8日(月)午後6時～8時

- 場所：ホートク販売株式会社 ショールーム

東京都新宿区西新宿1-26-2

野村ビル31階

電話 03-348-7481 (代)

- 内容：吉田あこ様 講演とVTR放映

以上、古藤チームリーダーを中心に進められました。

前述申し上げました通りこうして両テーマとも研究活動が実質的にスタート致しましたので、会員皆様の絶大な応援・協力で研究グループを是非成功させていただきたいと願っております。又これからの参加も出来ますので、どしどし会員の皆様の参加をよろしくお願い申し上げます。

尚研究委員会としても研究グループの手となり足となつて共に進めてまいります。

- 担当理事 大野美代子

- 委員長 山田伊三郎

- 委員

(リゾート施設のインテリア)

佐久間 務副委員長・真水公雍・建部 卓

(シルバー社会のインテリア)

大溝 浩副委員長・村口映子・前原紀雄・

池辺武彦

デザインツアーの企画、 着々進行中

国際委員会はデザインツアーの具体的プランについて
関連する各支部と打合せをはじめております。以下各支
部への問いかけの文書ですが、国際委員会から皆様へ企
画進行中のお知らせ、という形で掲載させていただきま
した。(文責 川上)

各事業支部へ

国際委員会委員長 後藤 宣夫

国内デザインツアーに関するお願い

(メインテーマ：外来文化の接点を巡る)

- 7カ国(韓国、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール、香港、フィリピン)へ招待レターを出しましたところ、現在4カ国8名の来日意志表示の返事がありました。その内訳は「マレーシア、インドネシア、タイ、韓国」でその中の2カ国(韓国、インドネシア)は協会の理事長が来日するであろうとの事です。来日人数の最終結果は5/末の締切をもって判明いたしますが、現状から見て7カ国14名が来日することが予想されています。限られた予算ですので、出来るかぎり企業賛助をお考え下さるよう望みます。
- 又全会員への伝達と参加に力を入れていきたいと思っておりますので、その点もよろしく御配慮下さい。
- 下記スケジュール通り各支部で2日間のスケジュール及びテーマを早めに立案されるようよろしくお願い申し上げます。又我々も必要な事は、いつでも参画いたします。

9/15	名古屋集合 名古屋泊	夕方 JIDパーティー	中部支部
9/16	"	三食要	
9/17	名古屋発 福岡泊	朝食要 夕食要	九州支部
9/18	"	三食要	
9/19	福岡発 大阪泊	朝・昼食要 夕食要	関西支部
9/20	"	三食要	
9/21	"	"	関東支部
9/22	大阪発 東京泊	朝・昼食要 夕食要	
9/23	"	三食要	

○ 予算、宿泊、食事、交通費の件

予算：1人1日宿泊と食事を含めて2万円を予定しています。

宿泊：2泊のうち、1泊はホームステイ又はお寺又は保養所(企業の協力を得て)等で、節約と同時に本来の目的である日本の生活を体験してもらうように考えてはいかがでしょうか。

食事：基本的に1日3食付です。

交通費：国内移動を含め1人1日1万円を予定しています。この費用及び手配は私達の方でいたします。(飛行機、JR、バス)

○ コミュニケーションの件

通訳についてはデザイン学校の学生及び海外留学生を体験勉強として協力してもらうよう考えてはいかがでしょうか。

○ その他、御意見、御希望、何んでもお問い合わせ下さい。

担当 林 夕起夫 03-465-7869 (FAX 兼用)

斉藤 武行 03-542-7100

03-5565-1356 (FAX)

矢作 彩子 03-358-4268

03-226-7859 (FAX)

○ 追記

このツアーの企画をも含めて、今後国際委員会の活動において、各支部の参加、御協力を強く希望しておりますので、ぜひ1名ないし2名の担当者の人選を至急重ねてお願い申し上げます。

全国 の J I D 会 員 と の 交 流 を 深 め る 「インテリアデザイナーズデー」

交流委員会委員長 山本 棟子

名古屋におけるデザイン博覧会と、JID創立30周年記念名古屋展の機会に、1989年9月15日(金・敬老の日)を「インテリアデザイナーズデー」と名付けて、当協会の存在のP.R.、全国的な会員の交流を深めるため、下記のような企画を進めています。

1) ワンデー・ツアー 1989年9月15日(金)

デザイン博、JID30名古屋展見学と

インテリアデザイナーズデー・パーティー。

2) オプション・ツアー 1989年9月16日(土)

- 9月15日パーティ後、名古屋泊、
16日名古屋近郊の日帰りオブショナル・バスツアー
① ミュージアム・ツアー（徳川美術館他）
② クラフト・ツアー（瀬戸陶磁器資料館他）
③ インダストリー・ツアー（工場見学）

といった魅力的な企画を検討中です。

この「インテリアデザイナーズデー」への具体的な参加のお誘いは近々お手元にお届けできると思います。是非とも時間をつくっていただき、出来るだけ多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

尚、ご希望やご提案などありましたら、事務局または下記の者までお知らせ下さいますようお願いいたします。

担当理事：白石

委員長：山本

副委員長：長谷川

委員：青木、浅野、宇佐見、金子、見城、古藤、
佐藤、杉本、宮代、
山崎（関西）溝口（九州）栃谷（中部）

来る5月26日(金)「30周年記念式典・講演会・パーティ」へぜひ、ご参加を

総務委員会委員長 秋山修治

J I D ニュース臨時号（12月15日発行）でもお知らせした通り、5月26日(金)に「創立30周年記念式典及記念講演」を、そして夕刻には「30周年記念パーティ」を、神宮球場隣の「日本青年館」で開催致します。なお当

日は、これらの記念行事に先立ち、午後12時45分より「第21回通常総会」が、同じ日本青年館・5階会議室で予定されています。

記念式典・講演会は、午後2時30分より、地下2階の中ホールで開始の予定です。会員および、インテリア業界関係諸機関の関係者列席のもとに行なわれます。この中で、かねてより懸案であった、当協会発展のためにご尽力いただいた、個人や企業への感謝状等の贈呈も行なわれます。

対象者・社は、当協会創立メンバーで、現在も会員として在籍されている方61名、特別功労者として、役員を通算20年以上勤められかつ現在も会員でいる方11名、賛助会員として10年以上継続して在籍されている企業43社などです。選定にあたっては、総務委及び事務局が資料を作成し、選考委員会が、これら資料をもとに選び、理事会で決定するという方法で行なわれました。

式典終了後の記念講演は、(株)ウォータースタジオ代表の坂井直樹氏による、「デザインオリエンテッドからマーケティングオリエンテッドへ」と題する講演を予定しています。

坂井氏は1947年大阪生まれ、1966年京都市立大学デザイン科に入学され、その年に渡米。1978年に現在の(株)ウォータースタジオを設立され、現在に至っています。坂井氏の主な業績では、日産自動車のあの話題をさらった、「Be-1」のコンセプト作りや、本年、限定販売された、同じく日産自動車の「パオ」、オリンパス光学工業の「O. PRODUCT」等一連の商品のコンセプト作りを手掛けられ、現在各方面より期待されてい

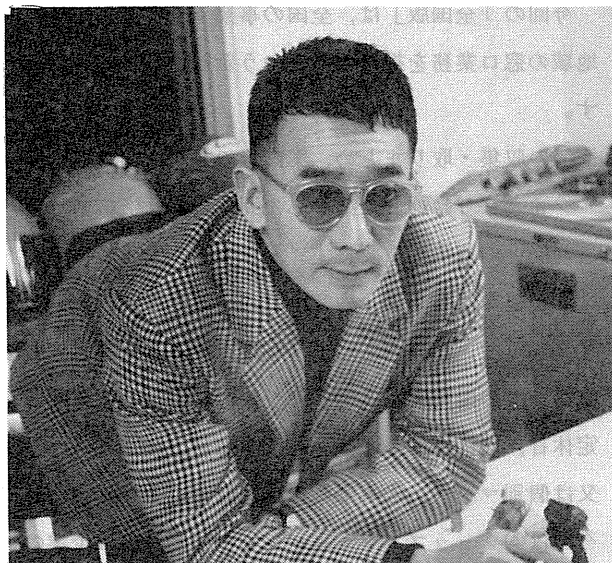
1947年 大阪生まれ。

1966年 京都市立芸術大学デザイン科入学。

1966年 渡米。

1978年 株式会社ウォータースタジオ設立。

ファッション情報をベースにエモーショナル・マーケティング（生活者の商品に対するテイスト分析）を展開する。ファッションはもちろん、自動車、I D商品、食品に至る幅広い分野で、トップ企業の品態、店態、ブランド開発のプロデューサーとして活躍中。日産自動車の超ヒット商品 Be-1 のコンセプトメイキングを手掛け、一躍業界の注目を集める。



る、コンセプトです。講演も、単なるお話しだけではなく、映像を用いた興味深いものになると思いますので、会員各位はもちろん、身近かな人達をお誘い合わせのうえご来場下さい。

一方、記念パーティーは、午後6時15分より、同じ日本青年館4階の宴会場に場所を移し約2時間の予定です、開催致します。来賓各氏のあいさつ等形どおりの事もおこなわれますが、30周年記念事業の最初の行事として、また、30周年記念事業全体を成功裡に導くためにも、数多くの人々に参加していただけるよう腐心しています。アトラクションとして、岬史郎氏とその仲間による、勇壮な日本のサウンドとしての「江戸寿太鼓」等の準備もしています。一人でも多くの会員諸氏のご参加を希望しています。

「インテリアマップ」の制作、本格化へ

インテリアマップ委員会委員長

福田 友美

インテリアマップの出版は、委員会が折衝を続けていました「モダンリビング」の(株)婦人画報社に決定しました。当初は、掲載料なしで出版をと強く考えていましたが、結局、とても困難との結論に至り、従来と同じ掲載料方式で実施することになります。先日(4月13日)3回目のインテリアマップ全国委員会を開き、この事の承認を得た後、割付枠の設定、役割分担、今後のスケジュール等を決め、10月発刊に向けて実施作業に入ったところです。

今回の「全国版」は、全国の事業支部が分担して、各地域の窓口業務を担当するという新しい試みで実施します。

情報の収集・取りまとめ、案内状の発送、申込書の回収・フォロー・勧誘、企業からの問い合わせに应对など、事務局との連携も重要です。

本の概要はB5判、約200頁、一部カラー印刷、予価¥2,500で、従来のものより判型、内容を一新しました。有料コマの掲載内容は①名称、住所、電話、営業時間、定休日、取扱品目といった基本情報、②エリアマップ、又は個別マップ、③事業所の自己紹介コメント。それに、今回は④ショップ・ショールームの写真、又は企業の代

表的製品の写真を掲載し、掲載料は4万円です。

尚、デザイン事務所は別途、一括で掲載する予定です。

また、誌面にバラエティを持たせる意味で、今回新しく設ける〈海外情報〉〈得する情報〉に関して、一般会員の皆様にアンケートを実施しましたところ、多くの方々から回答を寄せていただきました。ご協力ありがとうございました。委員会で現在内容を整理分析中ですが、ぜひ誌面に反映させたいものと考えています。

インテリアマップ委員会では、誌面充実のため、全国の皆様に、関係各企業に対し、ニューインテリアマップへの掲載申し込みの、お口添えをいただければと願っています。掲載申し込みの窓口は、JID各事業支部の事務局になりますので、よろしく、ご協力下さいませよう、お願い申し上げます。

追記 4月から新しく下記の両名がインテリアマップ委員会に参加されましたので、ご紹介します。

高岡 貞子 鈴木身和美(関東事業支部)

第2回プレス発表終える

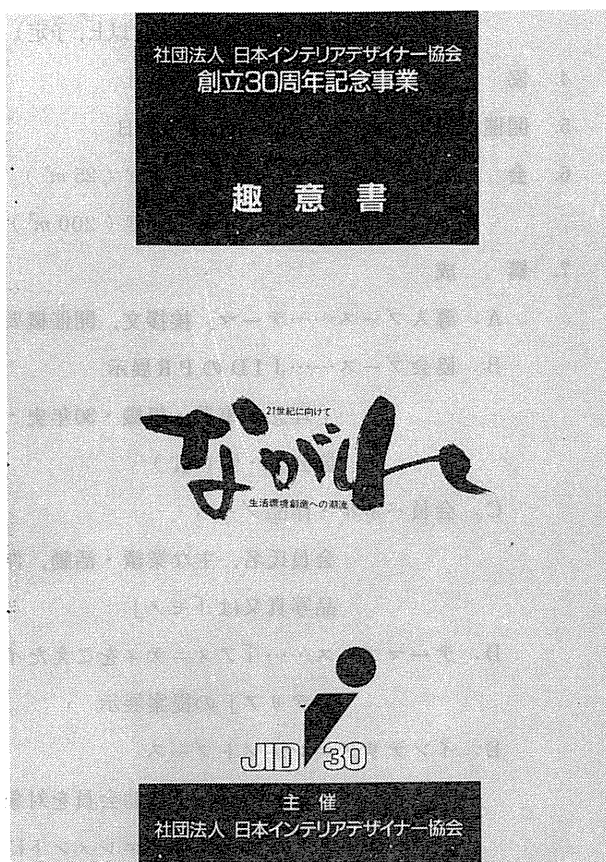
広報委員会委員長 笠 松 栄

第2回プレス発表は、4月3日(月) 午後1時30分より1時間、建築家会館の1階ホールで、前回を上回る18社のプレス関係者が出席する中で行なわれました。

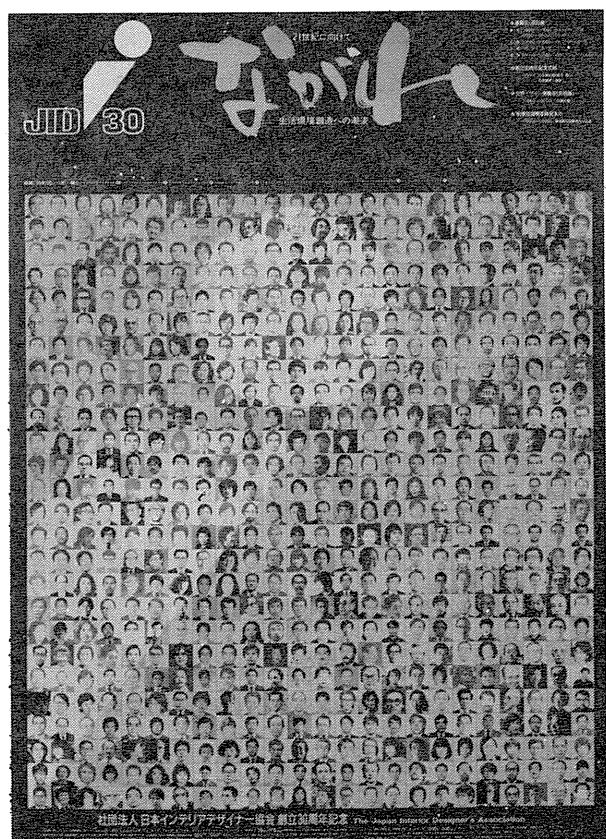
JIDから理事長、記念事業委員長、広報担当理事、広報委員が出席し、川上記念事業委員会委員長より、創立30周年記念事業の「趣意書」の内容が発表された。今回は前回と異なり、事業内容がより具体化された故、プレス関係者からは多彩な質疑があり、長時間に亘って活発な質疑応答が行なわれました。

30周年記念ポスター(校正刷)も同時発表されました。又、前回同様プレス発表の一部始終をビデオ撮りしましたので、会員の皆様にご活用していただきたいと思っています。

尚、30周年記念ポスターは、近日中に会員皆様のお手元に配布される予定です。ポスターは郵送の都合上、やむをえずB-4判大に折られるのでご了承下さい。もしポスターの折り目無しをご希望される方は、郵送料1,000円を添えて、事務局までご連絡下さい。



趣意書・表紙



30周年記念ポスター

「財務担当」からのお願い

財務委員会委員長 田中 聡 行

ご存知のように30周年記念事業は着々と進行しております。

記念事業の特別会計予算は「趣意書」に記されておりますように、約5,000万円となります。

各事業についての収支はそれぞれが独立採算をたてまゑとしておりますが、会議費その他で委員の方々の動きが活発になればなる程当然経費が嵩むことになり、一般会計からの支出も見込まなければなりません。

このような事情をご理解いただいて「年度会費」の納入について会員の皆様のご協力を賜りたいと存じます。

又「基金募集」についてのご協力も合わせてお願い申し上げます。

二委員会との共催事業について

関東事業支部支部長 竹中 幸雄

前回ご報告しましたように、関東事業支部では、中善寺副委員長を中心に、展覧会委員会に加わり、協力しています。したがって、重複する事項のお知らせは省略させていただきます。

1. 交流委員会との共催による、クイーンエリザベスⅡ世号の、見学昼食会について。

第1団が4月8日(土)に実施されました。英国船のインテリアと、料理、サービスを知る、3時間余りの海外旅行でした。生憎の天気でしたが、総勢100名、遠方の方、特にご夫妻での参加も多く、良い会員交流の機会でもあったと思います。QE2のインテリアデザインについては、入手しました資料を、後藤宣夫会員のお骨折りにより翻訳し、参加の皆様にお配りしました。第2団は5月6日(土)になっています。折がありましたら、ご感想、ご意見等お聞かせ下さい。

2. 国際委員会との共催による、「上海・蘇州 建築・インテリア研究視察旅行」について。

7月7日より11日迄の5日間で、特に1930年代、東洋一の近代都市であった、上海の建築・インテリアの視察に重点を置きます。詳細は別便の案内書をご覧ください。記念事業としても応わしい、研究、会員交流親

睦の会でございます。多忙の折ですが、多数の方々の参加を、お願い致します。

展覧会「名古屋展」の全体像決まる

中部事業支部支部長 林 寅正

中部支部のJ I D 30周年記念関連事業が、今年の9月14日～26日を中心として名古屋で行われるが、その全体像が去る3月29日名古屋で行われた展覧会委員会合同会議（関東・関西・中部）でようやく判明し、更に4月14日の記念事業委員会拡大会議に中部支部の展覧会計画案を別紙のように発表し了承されたが、この席で当初から巡回展として、関東、関西、中部それぞれのテーマブースを巡回するものとして計画されていたものが中止となった。つまり中部展は中部のテーマブース、会員パネル、インテリアエレメントブース、そして導入ブースとして協会P Rパネルの4セレクションとなり、協会P Rパネルのみが各地を巡回するということである。中部支部は支部として独自の形を丸栄ハローネ5階の約200㎡の会場に展開することとなった。

30周年記念事業の中部関連はハローネにおけるこの中部支部展の9月14日～26日をはじめとして、世界デザイン博内のデザインギャラリー展、研究セミナーの発表会が9月16日、インテリアデザイナーズデーのパーティが9月15日、又デザインツアーと5つの催しが同時に名古屋で行われます。これからの大事な準備は資金集め、テーマブースの具体化、会員パネル、インテリアエレメントブースの詳細決定とアピール等々、早速に進めなければならない事が一杯である。

会員諸兄の積極的な参加と大きな御協力を心から願っています。支部会員が一つにならなければできません。

(2) 展覧会の概要

1. 名 称 社団法人 日本インテリアデザイナー協会 30周年記念事業 「アメニティをこえたインテリア」名古屋展
2. 主 催 社団法人 日本インテリアデザイナー協会 中部事業支部
3. 後 援 名古屋通商産業局、愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、愛知県・名古屋市教育委員会、世界デザイン博覧会協会、

中部デザイン団体協議会(以上、予定)

4. 協 賛 インテリア構成材企業30社
5. 開催期日 1989年9月14日～9月26日
6. 会 場 マルエイ“ハローネ”1F(25㎡)
5F(200㎡)
7. 構 成
 - A. 導入ブース……テーマ、挨拶文、開催概要
 - B. 協会ブース……J I D のP R 展示
(理念・事業・組織・30年史・協会賞・野口賞)
 - C. 会員パネル・作品ブース
会員氏名、主な業績・活動、作品写真又は「モノ」
 - D. テーマブース……「アメニティをこえたインテリア」の提案展示
 - E. インテリアエレメントブース
J I D 会員及び賛助会員を対象としたインテリアエレメントに関する作品を展示
 - F. その他
8. そ の 他 オープニングパーティー
9. 組 織 社団法人 日本インテリアデザイナー協会 中部事業支部
名古屋市中区金山2-7-6
(財)生活用品振興センター中部支部内
電話(052) 321-6446
支部長・総括 林 寅正
展覧会実行委員長 栃谷 賢一

(3) 展覧会の内容(案)

- A. 導入ブース テーマ、挨拶、開催趣旨
- B. 協会ブース J I D のP R (理念・事業・組織・30年史・協会賞・野口賞)
* A B パネルは福岡・名古屋・大阪・東京各地巡回。製作は展覧会委員会(東京)
- C. 会員パネル(全員展示)
 1. 会員の概要を中部地区の地図上に表示する。
 2. 各会員の氏名、主な業績、活動、作品についてのコメント、写真。
コメントのサイズ、写真のサイズ
* フォーマット決定

D. テーマブース アメニティをこえたインテリアの
提案展示

*名古屋展のキーワード

「五感遊創」—素材・イメージそして創造—

私たちの生活は様々な素材を加工、生産し、それを消費することによって成り立っている。人間の活動と素材のながれのなかに見えてくる企業活動、人々の生活、知恵。

それらは今、地球の環境のながれを変えようとしている。我々インテリアデザイナーからかけがえのない地球へのメッセージを伝えたい。

1. 石 / 石材, コンクリート, ガラス, 金属

2. 石油(石炭) / 繊維, プラスチック, 染料

3. 土 / タイル, レンガ

4. 木(樹脂) /

木材, うるし, 紙, 染料, ゴム, コルク

5. 草 / 繊維, 染料, 竹材, 籐

6. 動物 / 皮革, 繊維

*石, 石油(石炭), 土, 木, 草, 動物の素材展示, 及び関連企業のパネル展示。

*テーマ展示, これらの素材をしつらえた空間展示。

E. 関連企業のパネル展示

上記関連の展示

30周年記念J I D 名古屋展実行委員会組織

総 括	林 寅正
展覧会実行委員長	・ 栃谷賢一 山本隆嗣
会場企画・構成委員会	・ 熊谷正信 大橋義博 尾崎博志 関里絵子 村上章彦 小松暁一
財務委員会	・ 堀内啓二 宇賀敏夫 本多政之 八代美智子
広報委員会	・ 田村 悠 前田千鶴子
パーティ委員会	・ 池田高明 木辺智子
セミナー委員会	・ 小柳朝一
展示委員	
導入ブース 協会ブース 会員パネルブース	・ 本間純一 中島健祝 横田真利 加藤博之 安藤 清 坂田守正 斎藤義男 松田康夫 棒田邦夫 藤田真二
テーマブース	・ 広瀬 一 奥山寿一 林 英光 高橋啓子 若園 晃 喜多計世 瀬十記夫 山腰 実 葭原 基 北出光弘 藤井 豊
インテリアエレメント ブース	・ 関西冬樹 早川正直 松波一夫 玉置勇一 長坂 信 中里信正 佐藤孝男 須田菁一

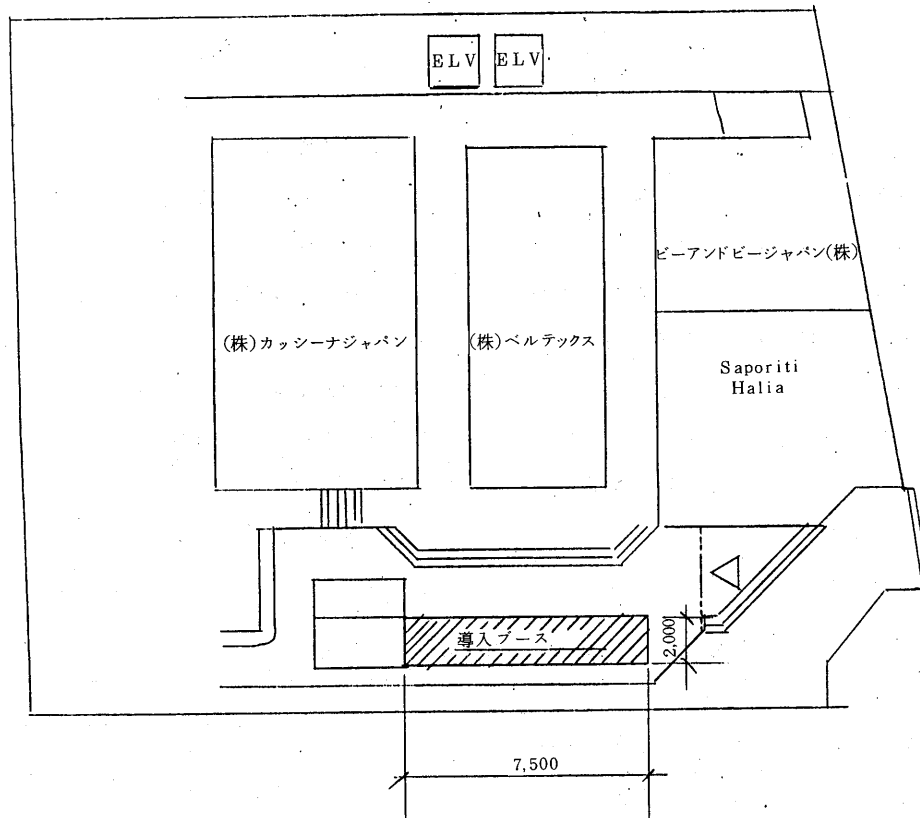
1. 収入の部 J I D 30周年記念名古屋展 収支計画案

科 目	内 容	出品料	数	金 額
●出品料	ブース(会員パネル・作品)	30,000	47名	1,410,000
	ブース(インテリアエレメント)	一口50,000	30社	1,500,000
			計	2,910,000

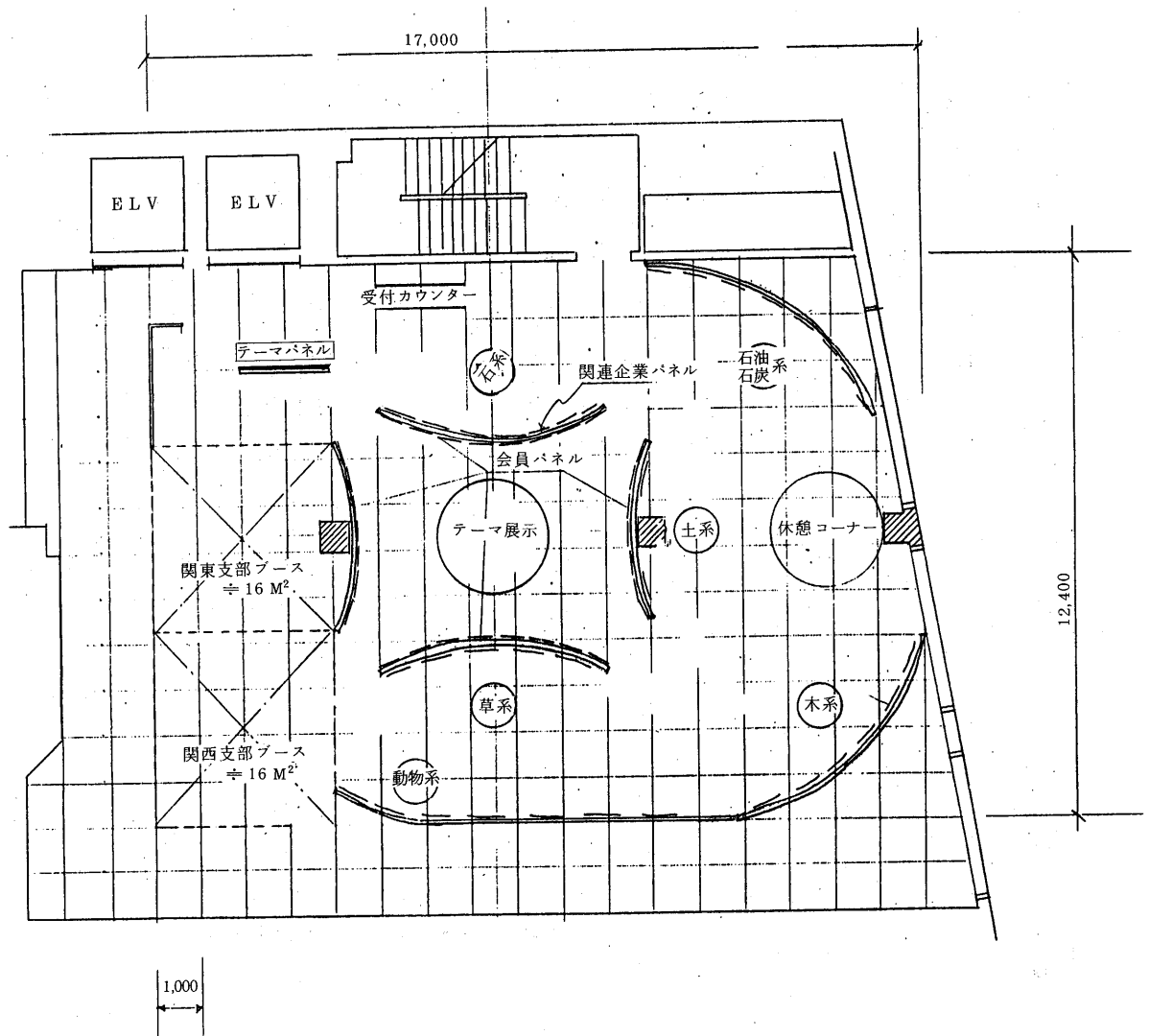
2. 支出の部

科 目	内 容	金 額
●会場構成施工費	テーマブース, ステージその他サイン及び内壁下地パネル・仕上	2,000,000
	会員及びメーカー用展示パネル(300角)×77 製作費	77,000
●印刷・通信費	案内状・ポスター・パンフレット印刷, 郵送費, 記録撮影費	700,000
●運営・予備費		133,000
	計	2,910,000

* オープニングパーティー及びセミナー費は含まず。



ハローネ 1 F 平面プラン (25 m²)



ハローネ 5 F 平面プラン (200 m²)

成果への期待と収支のバランスを

理事長 渡 辺 優

新緑の候となり、平成元年度の総会、30周年記念の式典も目前となってきました。

納得のいくまで構想を練ることは、デザイナーにとって大切なことに違いありませんが、記念事業の進み方を見ると、計画段階が予定より長くなっており、この辺でスピードアップが必要のようです。会員の皆様の一層のご協力をお願いする次第です。

また、私の立場で少々危惧していることは、収支のバランスの問題です。とくに各委員会の方々には、呉々も予算オーバーとならないようお願い致します。かねてから申し上げてきたように、この記念事業は次年度以降の事業活性化に結びつくようなものでありたいと考えております。今年度の支出が予定を越えてしまうと、次年度以降が苦しくなりますので、この点に問題を残さないよう、各事業の展開を効率よく進めることにご協力下さい。

このような運営上の危惧の反面、事業の内容についてはよい成果が得られることを信じています。各委員会において繰り返されている熱心な討議の状況を拝見していると、これまでの協会の事業活動にはなかった新しい展開が期待されます。

「デザインギャラリー展」 展示参加内容について

世界デザイン博等担当委員会委員長

宇 賀 敏 夫

既にJ I D ニュース臨時号創立30周年記念事業の動き-2で「デザインギャラリー展」の展示計画を会員皆様にお知らせ致しました。展示計画の概要については既に会員各位に企画書を送付致しましたので、お解りの事と存じますが、確認の為、展示会参加内容について記載致します。J I D と日本ジュウリーデザイナー協会(J J D A)、日本クラフトデザイン協会(J C D A)と3団体共同出展で、展示期間は8月26日(土)~10月4日(木)までです。3団体共通テーマは「新作法の創造」-新しいコミュニケーションの為に-です。従ってこのテーマに基づいて、新素材、新技術、物を通じて人間のコミュニ

ケーションの場作りのデザイン、空間を提案致します。また平面パネル展示も一般公募として募集しています。既にお知らせしました通り、ギャラリー常設展示スペースは有効面積500㎡と狭いスペースの中で3団体共同展示を行う訳で、応募多数の場合は展示委員会にて、出展パネルなど審査選定して展示致しますのであらかじめご承知おき下さい。再度展示参加に際しての概要を記載します。

① 一般公募参加：この展示は平面パネル(企画書ではA₂判サイズでしたが、A₁サイズパネルに変更)とし、出展予定数(20~25枚)ですが、全会員に呼びかけています。

② 立体空間参加：既にご案内している通り、立体空間ブースは4つのブースに分かれて展示します。公共空間ブースは関東支部会員参加対象、職域空間と住空間両ブースについては関西、中部、九州支部会員より参加を募っています。テーマブースについては3団体共通の表現のブースですので、中部支部が担当します。いづれにせよ1ブースの面積は約16㎡と限定されますので、空間展示もかなり制約されます。

またこの空間参加条件として会員2名以上のグループ参加が条件となります。申込ハガキにて参加応募された会員各位には追って展示に関しての内容詳細はご通知申し上げます。参加の諸経費については、パネル制作費、立体構成部品(部材)は個人又は企業持ちと致しますが、物の搬出入、展示に関しての装飾費、広告、パンフ、その他諸会議の費用については事務局が負担致します。

●お詫び：「デザインギャラリー常設展示」に関しての企画書の発送が遅れ、会員各位の申込期限日にかなり無理があったことをお詫び申し上げます。

尚、現在名古屋は「世界デザイン博覧会」「世界デザイン会議」と大変フィーバーしています。9月15日の名古屋での「インテリアデザイナーズデー」にはぜひ多数の会員の参加をお待ちしています。

展覧会「大阪展」、充実に向けて 着々と準備を推進中

関西事業支部支部長 栢 原 秀 栄

J I D ニュース臨時号/2で『J I D/30/大阪展』

についての概要と進行状況を記したが、その後の進捗と内容について記す。

展覧会会場は大阪展実行委員長富田卓司氏の努力により改装間もない近鉄百貨店アベノ店7階の525㎡(約160坪)に決定。会期も10月6日(金)から11日の6日間となる。丁度この期間には大阪21世紀協会主催のインタービュ文化祭が隣接して開催されることとなり、相乗効果も期待できそうである。

会場構成は、テーマブース/7ブースをはじめ、当初の基本計画通りの内容で進行中で各ブースのコーディネーターもほぼ決定。又、インテリアエレメントブース65

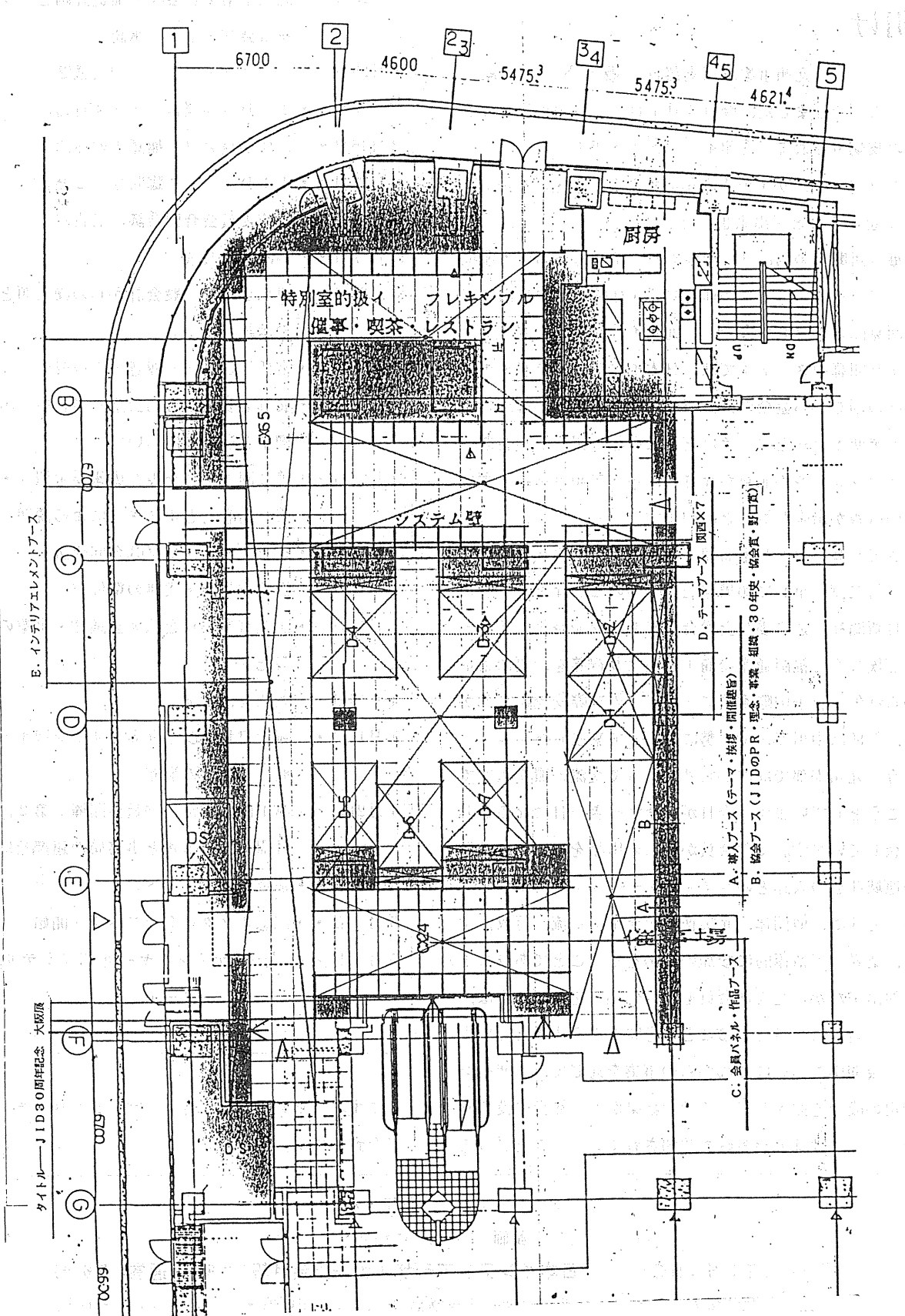
ブースへの出展協力についての勧誘計画も合わせて推進し、近々に各会員の分担と協力により、より多くの参加を各関連企業に呼びかけ、充実した内容のある記念展にすべく手筈を整えつつある。

展覧会初日である10月6日には、記念事業の一環としての記念セミナーも企画中であると同時に、合わせてオープニングパーティを行い、30周年記念展をより一層盛り上げる様、各委員会間の密なる連絡をとりながら推進させている。

●展覧会「大阪展」のプランは次ページをご覧ください。

賛助会員ディレクトリー (抜粋)

(株) コ ト ブ キ 東京都千代田区有楽町1-2-12 〒100 (03)591-1311(大代) (0422)52-2111 藤沢 稔(武蔵野事業部開発課)	(株) サ ン ゲ ッ 東 京 店 東京都品川区東品川3-20-17 〒140 (03)474-1181 田中三千春(営業課課長)
サ ン ブ リ ゾ (株) 東京都港区新橋4-7-2 〒105 (03)434-0808 大迫弘文(業務部課長代理)	(株) 志 野 陶 石 京都市中京区御池御幸町西・北側 〒604 (075)222-2311 奥野一哉(広報部)
ス タ イ ル フ ラ ン ス (株) 東京都千代田区一番町22-1 〒102 一番町セントラルビル (03)234-0186 ジャンヌ・ゴルベスト・スィジェ(代表取締役)	す ず ら ん 工 業 (株) 工場：愛知県宝飯郡小坂井町伊奈字佐協原415 〒441 (05337)2-3191 西村克之(専務取締役)
住 江 織 物 (株) 東京支店 東京都港区三田3-13-16 〒108 三田43森ビル8F (03)456-3011 木本和弘(第二販売部部長)	(株) 住 之 江 工 芸 大阪市西成区南津守7-15-8 〒557 (06)659-2668 荒井英雄(代表取締役)
(株) 西 武 百 貨 店 東京都豊島区南池袋1-28-1 〒171 (03)987-8360 建装事業部建装部長	西 和 イ ン テ リ ア (株) 工場：埼玉県入間市狭山ヶ原松原108-15 〒358 (0429)34-1101 大塚行雄(家具事業部次長)
仙 台 デ ザ イ ン 専 門 学 校 宮城県仙台市木ノ下2-8-27 〒983 (022)257-0760 学校長 村山祐俊 事務長 関口幸男	創 造 社 デザイン専門学校 大阪市福島区福島6-25-23 〒553 (06)452-0821(代) (06)452-5561 大野幸夫(教務部 副校長)

[illegible]

展覧会「福岡展」は5月1日、 「'89デザインイヤー九州イン テリアデザイン展」として幕 明け

九州事業支部支部長 坂 下 昌

おまたせしました、今日5月1日J I D 30周年記念事業の皮切りとなる「九州インテリアデザイン展」オープニングパーティが120人を集めて盛大に幸先の良いスタートを切ることが出来ました。

毎日新聞の朝刊には「福岡シーサイドももち住宅環境展」であなたも近未来の理想の“住体験を、の見出しで全面見開きのPRの頁を、「九州インテリアデザイン展」きょう開幕のタイトルでは、日本インテリアデザイナー協会の創立から協会の位置づけ、世界デザイン博、アジアのデザイナーとの交流など、又作品の紹介から会期中のスケジュールの記載がなされ、エリア40万部にまずまずの広報が出来たものと思います。

さてバビリオン「木島館」をうめたパーティ会場では、川上信二副理事長に30周年記念事業のことなど、共催の毎日新聞社、運営委員会総合バビリオン館長よりそれぞれ挨拶を、福岡通産局商工課長より祝辞を、更に東京からは矢作彩子国際委員にデザインの国際交流のこれから、乾杯は中川理事で一勢に盛上って来ました。

今、九州支部では内から外へ向って交流の環を広げていこうとしています。今日が記念すべき一日になることを念じています。支部会員が今回の出品を通して産業界や地域社会の人達とのコミュニケーションを親密にしていくと共に、他団体、異業種のデザイン交流、行政、学界、業界、等積極的に参加の姿勢を示すことであります。参加出来なかった支部会員も今日の熱気を見たならば、思いを新たに会員であることの意味を再考すると思います。会期中あるいはこれからの事業を通じて、デザイン活用の機会を拡大していくその結果が地域社会の役割りを果していけば協会組織も認知されていくものと思っ

記念事業委員会経過報告

- 1月11日・・・常任委員会(19)・財務計画
- 1月25日・・・記念事業委員会(4)・推進計画と予算
理事会(5)・予算の承認
- 1月28日・・・インテリアマップ合同会議(2)
- 2月10日・・・J I D 合同運営会議・趣意書について
- 2月16日・・・常任委員会(23)・趣意書の作成
- 2月23日・・・J I D ニュース臨時号－2発行
- 2月25日・・・交流委員会合同会議(名古屋)
- 3月8日・・・関西支部会議
- 3月24日・・・理事会(6)・一般会計からの繰入額と趣意書
の承認
- 3月26日・・・常任委員会(28)・趣意書の最終チェック
- 3月29日・・・展覧会委員会合同会議(名古屋)・内容の
調整と巡回展について
- 4月3日・・・第2回プレス発表(広報委主催)・18社参
集、趣意書とポスターによる説明
- 4月13日・・・インテリアマップ(3)合同会議
総務委員会・式典の準備
- 4月14日・・・記念事業委員会拡大会議(2)・事業の実施に
あたって
- 4月15日・・・九州支部会議
- 4月17日・・・趣意書および「世界デザイン博ギャラリー
展」企画書の配布
- 4月24日・・・第1回定例常任委員会開催(第2、第4の
月曜夜)→広報と事務局の連携をはかる。
- 4月28日・・・基金募集スタート
- 5月1日・・・記念ポスター全会員へ発送開始
- 5月1日・・・「'89デザインイヤー九州インテリアデザ
イン展」スタート

います。とりあえず展覧会オープニングパーティーの報告を致します。

1989 / 臨時号

頒価 300円(送料共)

平成元年5月12日発行 (日本インテリアデザイナー協会月報1989年通巻156号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

印刷所・(社福) コロニー印刷

振替・東京 8-76389